

(令和8年3月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	<p>3月は日が進むにつれ気温がゆるやかに上昇し、雨が少ない地域はあったものの適度な降水もあり、生育順調な品目が多くみられた。総入荷量は前年同月比で5%上回り、総取扱金額は前年同月比で5%下回った。今後は、気温上昇により生育が進み、安定した入荷が見込まれる。</p> <p>4月は、野菜では、たけのこや木の芽が最盛期を迎え、きゅうりやとまと等の果菜類が増える。果実では、伊予かんや不知火などの中晩柑類が終盤を迎え、いちご類が減少傾向となる。</p>
野 菜	<p>野菜全般の入荷量は前年同月比で5%上回り、単価は13%下回った。</p> <p>根菜類の入荷量は前年同月比で11%上回り、単価は28%下回った。</p> <p>葉菜類の入荷量は前年同月比で8%上回り、単価は34%下回った。</p> <p>果菜類の入荷量は前年同月比で6%上回り、単価は9%下回った。</p> <p>土物類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は20%上回った。</p>
果 実	<p>果実全般の入荷量は前年同月比で6%上回り、単価は前年同月並みであった。</p> <p>かんきつ類の入荷量は前年同月比で11%上回り、単価は10%下回った。</p> <p>りんご類の入荷量は前年同月比で15%上回り、単価は6%下回った。</p> <p>いちご類の入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は7%上回った。</p> <p>メロン類の入荷量は前年同月比で27%上回り、単価は12%下回った。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<b>【根菜類】</b>	
長だいこん	鹿児島、長崎、徳島を中心に香川、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で14%上回り、単価は51%下回った。
西洋にんじん	徳島を中心に、大阪、愛知、長崎、鹿児島などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は26%下回った。
<b>【葉菜類】</b>	
はくさい	兵庫、愛知、長崎、茨城、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は57%下回った。
キャベツ	愛知を中心に滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で23%上回り、単価は49%下回った。
ほうれんそう	茨城、京都、福岡を中心に滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で15%下回ったが、月上旬に入荷が集中し大きく価格が下がった影響で単価は6%下回った。
レタス	徳島、兵庫、長崎、茨城、岡山などから入荷した。入荷量は前年同月比で20%上回り、単価は22%下回った。
<b>【果菜類】</b>	
きゅうり	宮崎を中心に、高知、佐賀、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は4%下回った。

なす	高知を中心に、岡山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で9%上回り、単価は4%下回った。
とまと	熊本を中心に、福岡、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月並みだったが、単価は6%下回った。
ピーマン	宮崎を中心に、高知、茨城などからも入荷した。入荷量は前年同月比で14%上回り、単価は10%下回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メイクイン含む)	北海道、京都、鹿児島を中心に入荷した。入荷量は前年同月並みだったが、単価は14%上回った。
たまねぎ	北海道を中心に、兵庫、長崎、静岡、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月並みだったが、単価は46%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山を中心に入荷した。入荷量は前年同月並みだったが、秀品率が高く単価は8%上回った。
伊予かん	愛媛を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で77%上回り、単価は38%下回った。
はっさく	和歌山を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で48%上回り、単価は31%下回った。
不知火（デコポン）	和歌山を中心に、愛媛、佐賀、香川などからも入荷した。入荷量は前年同月比で33%上回り、単価は29%下回った。
サン富士	青森を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で14%上回り、単価は7%下回った。
いちご	福岡、熊本、大分、佐賀、長崎などからも入荷した。入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は7%上回った。
アールスメロン	静岡、高知などから入荷した。入荷量は前年同月比で8%上回り、単価は3%下回った。